

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型障害福祉サービス事業所 BRING UP		
○保護者評価実施期間	令和8年3月2日		令和8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年3月2日		令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムの充実。週毎の活動案を作成し、個別活動、集団活動の内容が固定化されないようにしています。様々な体験や経験する事を通して、楽しみながら発達の手台作りを育む事を目指しています。	5領域や地域移行に向けて総合的に療育を提供する事を目指しています。個別活動では、主に学習の基礎作り(座る・聞く・見る・書く・読むなど)や学習の定着に向けて取り組み、集団活動では、主に簡単なルールの理解・他者とのコミュニケーションなどの獲得に向けて取り組んでいます。	1人1人に合った支援プログラムを立案する為に、ご本人、ご家族や関係機関(学校、他事業所、相談支援専門員など)との情報共有を大事にしています。
2	保護者支援(個別相談、事業所参観、研修会の開催など)を定期的に行っています。ご本人だけではなく、ご家族や学校生活の事など幅広い内容で相談して頂いています。<ご家族の笑顔がご本人の笑顔につながる>事をご家族と共有しています。	事業所での過ごしや会話を通して、ご本人やご家族の様子に変化がないかなど、気が付けるよう心掛けています。また、相談しやすい雰囲気を作る事や同じ目線に立って対話する事を意識して取り組んでいます。	個別相談だけではなく、グループ相談の実施をします。ペアレントプログラムやペアレントトレーニングなど支援員とご家族と一緒に考える場やご家族同士が意見交換できる場の提供を検討します。
3	研修制度の充実。スーパーバイザーや看護師などをお招きして、社内研修を開催しています。社会情勢などを踏まえ、事業所また職員1人1人の振り返りの場になっています。研修を通して、今後の目標や取り組みなどを議論しています。	今どう状況なのか、今後どうしていかないといけないのかなど職員間で共有し広い視野を持って議論しています。研修内容については、職員やご家族からの要望を踏まえ、検討しています。	職員の振り返りやスキルアップにつながる事、またご家族の要望が反映できる研修の開催を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の学童や児童館との交流機会の提供。	学童や児童館に事業所があまり知られていない事。また、事業所の通所している時間帯で子どもたち同士の交流が難しかった事。	事業所見学会や事業所の開放などを通して、事業所を知ってもらう事。学童や児童館への訪問や行政のイベント等へ参加し交流を図るなど検討を行います。
2	保護者向け研修やグループ相談の充実を目指します。	個別相談や子育てサポートを通して、ご家族との信頼関係の構築に力を入れていました。その為、グループ相談の提供機会ができていませんでした。	ご家族からの要望を踏まえ、研修会やグループ相談の内容を検討します。
3	ITを活用して、業務の簡素化を目指し、利用者への支援提供の充実を目指します。	システムの導入など業務をIT化に移行している段階です。また、時代に合った業務効率に取り組み、簡素化できる事に取り組んでいます。	ITを委託している企業と連携を図り、法人に合ったやり方や優先順位などを検討し、業務改善に努めます。